

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 26 年後期 **Tadamitsu Kishimoto International Travel Award**
研究発表報告書

申請者氏名	若松 英	会員番号	25034
申請者の所属・職名	東京理科大学 生命医科学研究所 免疫生物学研究部門・助教		
出席会議名	Keystone Symposia D3: T cell: Regulation and Effector Function		
発表論文タイトル	<u>CD28 co-stimulation is required for the maintenance but not the development of peripherally-derived regulatory T cells</u>		

実施結果:

この度は平成 26 年度 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award (後期分) に選出していただき、誠にありがとうございました。私は、2015 年 3 月 29 日から 4 月 3 日まで、アメリカ、ユタ州、snowbird resort で開催された Keystone Symposia D3: T cell: Regulation and Effector Function に参加しました。

CD28 シグナルは T 細胞の活性化だけでなく、制御性 T 細胞 (Treg) の胸腺分化、および末梢での維持に寄与していることが明らかとなっています。Treg は生体内では胸腺由来と末梢由来の 2 種類に分類されますが、CD28 シグナルが末梢由来 Treg にどのような役割を果たしているかは十分に理解されていませんでした。本学会では末梢由来 Treg における CD28 シグナルの要求性が胸腺由来 Treg とは異なることを発表しました。本研究発表において、多くの研究者と意見を交換することを通じて、貴重なアドバイス、不十分な点に関する指摘などをいただき、今後の取り組む課題が整理されました。また、口頭発表、ポスター発表においては、ほとんどの先生が unpublished data を紹介されており、最新の研究を直に感じることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、このような機会を与えていただきました岸本先生および選考委員の先生方に厚く御礼申し上げます。また研究のご指導をいただきました安部教授、ならびに研究室の皆様にご心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みとし、また本学会中に得られた知見、人とのつながりを活かし、今後更に研究を発展させていきたいと思っております。